

今年の夏の暑さが和らぎ、地域によっては少しづつ過ごしやすくなっていることと思います。  
秋の行楽シーズンには神社仏閣に詣でる方も沢山いらっしゃる事でしょう。

さて、日本全国に様々な霊場がありますが、その中でも特に有名なのは四国八十八カ所と  
西国、坂東、秩父の観音霊場ではないでしょうか。四国は弘法大師の霊場ですが、西国三十三、  
坂東三十三、秩父三十四ヶ所はあわせて百観音と呼ばれ、多くの信仰を集め、各地に同じ  
ような霊場が沢山あります。

一番多いのは聖観音菩薩さまですが、頭に十一の顔をもつ十一面観音さま、多くの手を  
持つ千手観音さま、頭の上に馬をいただく馬頭観音さまなど様々です。これは観音さまが多  
くの方の苦しみに対応するために、様々な姿に変わって私たちの前に現れるという事を表して  
います。

この観音霊場にお詣りした際に、ほどこしの「施」に無し「無」そして、畏敬の念の「畏」  
という字の「施無畏」と書かれた額がかかっている事があるかと思えます。これは畏れを除く  
といった意味。観音さまは「施無畏者」とも呼ばれ、私たちの畏れの心を除いて下さる仏さま  
という意味です。

近年は、御朱印が大変人気のお詣りの方も多いことと思います。御朱印をい  
ただく帳面を「御朱印帳」といいますが、お経を納めると書いて「納経帳」ともいいます。  
お写経をし、お経を納めてその証として御朱印をいただくという意味があるのです。霊場には  
「納経箱」が設置されているところもありますので、お写経をなさっている方は納められ  
ても良いかと思えます。

## 『 禅のこころ -曹洞宗- 』

---

観音経には観音さまを念じ、観音さまが呼びかけるその声は心を静め、世間の苦しみに共鳴する声であり、煩悩を超えた声であり海鳴りのような全てを包む声で、世間の欲望を超えた声であり、常に念ずるべきであるとあります。

是非、観音さまを祀ってあるお寺に詣でて手を合わせてみてください。

— 終 —